

広報

あさひまち

ASAHI-MACHI

12 | 1991
DEC.
月号
NO.42 |

シリーズ “働く”

心のこもった笑顔のサービス

「お客様が大勢いらっしゃって、忙しい時の方が楽しいです」と、ハキハキと語ってくれるのは松田妙子さん（立木・19歳）。

彼女はホテル自然観のウエイトレスとして、今年の四月から働いている㈱朝日産業開発公社の社員。「小さい頃から話をしたり、人のお世話をす

ることが好きだったので、サービス業に就職したいと思っていました」と、今の仕事に満足している様子。

自然観は、いよいよスキーズン本番を迎えますが、彼女の笑顔がスキーヤーの疲れをいやしてくれそうです。





100年前の景観を再現したグランドランドのエコミュージアム

フランスにみるエコミュージアム

—F21プロジェクトの海外研修を終えて—

広報座談会

町づくりの研究を自由に行っている、F21プロジェクト研究員の海外研修が、10月15日から9日間にわたり行われました。
今月は、その研修に参加された9名全員の方にお集まりいただき、本場フランスのエコミュージアムと、これからの町づくりについて、大いに話し合っていました。

地域に誇りを 持つ人たち

司会 わたしたち九名は、十月十五日から二十三日まで「あさひまちF21プロジェクト」の海外研修に参加しました。本日は、その視察についていろいろ話し合いたいと思います。

今回の研修は、町の第三次総合開発基本構想策定の基本理念となった「エコミュージアム」をテーマとし、発祥の地であるフランスを訪問し、実際のエコミュージアムを視察しました。視察場所は、フランス南部のグ

ランドランドと、北部ノルマンディー地方にある、バスセーヌです。

はじめに、グランドランドのエコミュージアムの感想などから話していただきましょう。

小関 グランドランドは、ワインで有名なボルドー市から車で一時間半のサープという人口二千人の小さな町にあります。ここは廃村になった村を再建し、百年前と同じような建物や、周囲の景観を再現しているもので、昔の生活の様子を展示した施設、水車小屋、パン屋などがあります。国立公園内にある公共施設で、来訪者は年間十一万五千人、

そのうち45%は地域の人達だということ。エコミュージアムができたことで、住民たちは自分たちの文化遺産や歴史遺産、あるいは自然そのものに価値を見つけたし、誇りを持つようになったという係員の話が印象深く感じられました。

川村 わたしは、まるでタイムスリップしたような錯覚に襲われました。わたしたちを乗せる汽車も骨董品なら、目の前に広がる景色も十九世紀の田舎の風景だったのです。鶏が動き回りパンが焼かれている。それは広大な博物館の中でゆっくりとした時間とともに、人々の生活が営まれているという感じでした。しかし、それは、そこで働く職員が演出しているものであり、古い建物や施設は、昔あった集落の姿のように復元したものなんです。それが分かっていながら、その中にいるわたしは、とても安らかな気分を味わえたというのが実感です。

住民参加の 運営法

司会 お二人の方からグランドランドについて伺いましたが、もう一箇所のバスセーヌについてはどうだったでしょうか。



司会 西沢 信雄（西原・旅館業）
〔研修顧問兼事務局〕



熊坂 正一助役
〔団 長〕



小関 典子（新宿・朝日中司書）
〔会計・保健係〕

阿部 フランスの首都パリから北へバスで二時間余り。バスセーヌのエコミュージアムは、第二次世界大戦の連合軍上陸作戦で有名な、ノルマンディー地方ブルノンヌ地域自然公園の中にあります。

わたしたちは、その中の「職人の館」で学芸員のジュベールさんから説明を受けました。エコミュージアムの目的は、自然や文化遺産を保全していくことであり、かつ自然と文化を活かした産業を育成することだと話されました。住民は、運営協力費として一人当たり十フラン（250円）を出しているということです。また、エコミュージアムができたことによって、地域の人々の勉強の場ができたという話などの説明も受けました。

また、アップルハウス（リング博物館）などは興味深く見学しました。中に入るとリングジュース、サイダー、カルパドス（リング酒）など好きなものを試飲させてくれます。リングが花を咲かせてから実をつけるまでを放映するテレビがあったり、リングの歴史を説明するパネルなども展示されていて、朝日町のリング博物館でも参考になるのではないかと感じました。

司会 これまで話された以外のことについて、佐藤さんはどんな感想をお持ちですか。

佐藤 わたしは今回で三回目のパリ訪問になった訳ですが、いつも感じることは、古い町並みを実によく保存しているということですね。その反面、新しいビジネスセンターなどの整備も着々と進められ、めりはりのある町だと思いました。

奥津 わたしは、ワインで有名なボルドーについて話してみたいと思います。はじめに見学したのは「アキテーヌ博物館」という歴史博物館兼民族博物館でした。次に訪れたのが「ワインの家」と「ワインセラー」（ワイン工場）でした。特に印象に残ったのは、洒落たパンフレットと日本語版の解説ビデオがあったことです。ヨーロッパだけでなく、世界を相手にワインづくりをしていると強く感じました。

加藤 グランドランドのエコミュージアムでは、わたしも川村さん同様タイムスリップしたような感じを持ちました。それだけ、エコミュージアムに対する熱の入れ方が半端ではないのですね。それから、本場のフランス料理を大変おいしく食べられたことが、何といっても最高でした。

助役 みなさんには、忙しい中研修に参加していただきありがとうございました。それぞれ自己研修を深められたことと思います。二箇所のエコミュージアムを視察してきた訳ですが、それぞれに大変感動してきました。具体的には、緑の大地と松の人工林の美しさを保存しているという点や、リングとワインがあり、朝日町に大変似ているということなどです。そして何より感銘を受けたことは、これまで自分たちが歩んできた文化をきちんと整理、保存し、その価値をみんなが理解しているということです。

朝日町の風土にあつた構想を



「松やに」について学習する子供たち（グランドランド）

町のエコミュージアムとは？

エコミュージアムとは、行政と地域住民が一体となって、地域の生活、自然、文化などを歴史的に探究し、現地で保存、育成することにより、地域の発展に寄与する新しいタイプの野外博物館とされています。わが町では、それを「楽しい生活環境観」と独自に呼び、町づくりの基本理念としました。つまり、わが町のエコミュージアムとは、「楽しい生活環境観」の具現であり、そのために、町に住む人々が町の生活や自然、文化を見直し、誇りを持ち、それらの資源を生かしながら、楽しく生き生きと生活できるまちづくりをめざそうということです。



阿部 康子（常盤・会社員）
〔研 修 係〕



奥津 秀昭（河北町・朝日中教諭）
〔研 修 係〕



大井 重宏（常盤・会社員）
〔研 修 係〕

時から、繰り返し繰り返しエコミュージアムの考え方を教えているのではないだろうか。

大井 今回の視察に参加するにあたって、エコミュージアム基本構想調査報告書を読んでみましました。正直いってチンプンカンプンでした。百聞は一見に如かず。本物のものをみれば分かったと思います。残念なことが、残念なままです。疑問が深まったというのが現在の心境です。

第一は、学習の場としての博物館の役割です。今考えるとこの博物館とは、わが町の公民館と同じではないかと思いたるのです。すると、サテライトは、すでに存在しているのではないかと。エコミュージアムに学ぶというより、住民と一体化した公民館を町の活性化の基盤とすればよいのではないかと、という疑問です。第二は文化遺産の取捨選択です。何年前のものが遺産で、何が文化なのでしょいか。取捨選択の基準はどこにおくのでしょうか。生物が脱皮するように、文化遺産の殻がいたるところに散乱し、生存スペースがなくなりはないかという疑問です。

第三は、展示形態ですが、現実のエコミュージアムの展示は、思った以上に簡単なものです。

報告書では、あまりに難しく考え過ぎていたのではないかと、いう疑問です。

もう一度、エコミュージアム理念の原点に戻らなければならぬと思います。都合のよい部分だけを取り上げたり、拡大解釈はしていいか。また、フランスのエコミュージアム構想をそのまま導入することではなく、朝日町の風土にあったもので「暮らしやすさ」を考え、具体化することが大切ではないでしょうか。

川村 わたしが考えているエコミュージアムは、歴史的なものを残すことが目的ではなく、精



▲フランスが世界に誇るTGV（フランス新幹線）をバックに記念撮影（パリ・モンマルト駅）

▼昔ながらの製法でパンを焼くパン屋さん（バスセヌ）



神的なもの、心の問題が一番大切なことだと考えています。戦後、日本人は、欧米中心の考え方を取り入れることにより、それまで持っていた日本人の良さがだんだんと薄れてきたように思うのです。エコミュージアムの考え方で日本人本来の特質を取り戻すことができるのではないのでしょうか。

キーワードは 価値観の変革

司会 大井さんの疑問は、今回参加された方や、町民の多くの方も同じように感じていると思

います。一つ一つの疑問に答えるのは差し引かえますが、戦後四十数年間わたしたちが求めてきた豊かさとは何だったのか。現在、経済性をあまり優先させためさまざまな分野で歪みが生じています。これからの社会は、金銭的豊かさが、即豊かな暮らしとはならないのではないのでしょうか。そこで、大切になってくるのが、実際に町に住んでいるわたしたちの意識変革ではないのでしょうか。その意識変革の方法として、エコミュージアムの考え方を導入した町づくりをやるということだと思っています。キーワードは価値観の変革ということでしょうね。大井さんから出された疑問はとても大切な事柄です。今後、行政側でも、機会あるごとに話し合いの場を設定すると同時に、わたしたち町民も積極的に考え、話し合う姿勢を持つことが必要だと思っています。

阿部 わたしは会社員ですから



川村 利之さん(大谷六・会社員)
[研修係]



佐藤 勉さん(西町・会社員)
[撮影記録係]



加藤 正彦さん(宇津野・会社員)
[撮影記録係]

今後も交流を 続けよう

司会 それでは、研修全般の感想について話していただきましょう。

奥津 わたしは河北町民でありながら、研修に参加させていただき朝日町の広い心に触れたと思います。おかげで、生徒達に二十一世紀をめざした朝日町の構想をより具体的に教えることができると思います。そして、朝日町のすばらしさに気づかせ、もっと自信と誇りの持てる人間に育てたいですね。

八時間は生活の糧を求めるため働かなくてはなりません。それは当たり前のことで、仕事をしている以外の時間をどう楽しく過ごすかというのがエコミュージウムだと考えています。

助役 町民が本当の豊かさを実感できる町を朝日町はめざしている訳で、その手段としてエコミュージウムの考えを取り入れたということ。河川改修を行う場合でも、従来のようなスムーズな流れだけを考えるのではなく、水生植物や動物のことも考え、ブロックに穴をあけて魚が住めるようにするといったようなことも考えられます。

佐藤 今回の研修で、大都市だけでなく、ボルドーやノルマンディーなど、地方(田舎)を見たということが一番の収穫でした。また、どこまでも続く広大な畑をみて、フランスは自給自足できる国だということを再認識しました。

小関 本当の豊かさとは何かを考えさせられた研修でした。フランス人は衣食住すべてにわたって、本物を見分ける目をもってしていると感じました。また、必要なものだけを買いたいというフランス人の生活に触れたのは、とてもすばらしい体験でした。

阿部 フランスは思っていたとおりのすばらしい国でした。パリでは、ルーブルやオルセーの美術館で世界の名画や彫刻なども見学でき、とても感動してきました。体全体でフランスを体験できたことに、大変満足しています。

川村 わたしは初めて外国へ行ったので感動の毎日でした。全くフランス語は話せないし、英語もあいさつ程度で買物の際は、こちらの意志を相手に伝えられず苦労しました。言葉の大切さを身にしみて感じました。

大井 外国の文化に触れられてとても幸せでした。現在朝日町に住んでいる訳ですが、やっぱり、若者が住みたくなる町づくりをしてほしいと思いますね。

加藤 今回の研修に参加させていただき大変感謝しています。これから、バスセーヌ地方への訪問を続け、できれば姉妹都市といった形で交流を深めたいですね。エコミュージウムの考えが町民に広く浸透するには、時間をかけて解決しなければならぬものがあると思います。でも、働くことだけでなく、「遊」と「休」を取り入れた考え方で進めれば豊かな町がつけれると思います。

助役 今回の研修は、旅行会社等の団体で行くツアーに参加したものではなく、朝日町が独自に企画した研修であったということは大変意義のあったことだと思います。

司会 今回の研修では、実際のエコミュージウムを視察した訳ですが、一回だけの研修ではまだまだ理解できないこともあります。



サップの町長を表敬訪問する一行(サップ庁舎)

町づくりの功労者を表彰



町では毎年、町民のみなさんや団体、各機関からの推せんにより、長年にわたり町の振興発展に尽された方や、社会のため模範となるような活動を続けている方に自治功労者、善行者等の表彰を行っています。去る十一月二十一日町中央公民館で開かれた秋期区長会の席上、その表彰式が行われました。今年表彰を受けた方は次のみなさんです。

自治功労者表彰

(社会福祉功労)

●(故)佐竹千歳氏(八ッ沼)

昭和五十四年から十二年の長い間、民生児童委員として低所得者、身体障害者世帯等要援護家庭の自立更生指導に尽力され、地域福祉の向上に貢献。

(産業功労)

●長岡定一郎氏(本町・71歳)

昭和三十五年朝日町商工会の設立にあたり東奔西走尽力され、今日の商工会の礎を築かれたほか、同年八月の商工会設立総会において監事に選出されたのち今日まで、商工会監事六年間、同理事を十三年間の長きにわたって歴任され、商工業の振興発展に貢献。

(自治功労)

●渡辺 茂氏(古楨・69歳)

昭和四十三年度、六十二年度、

感謝状贈呈

●伊藤栄助氏(四ノ沢・81歳)

多年にわたり交通安全協会役員として交通安全思想の啓蒙普及に尽くされたほか、四ノ沢老人クラブ会長、同ゲートボール会長、また今年度からは朝日町ゲートボール会長として、高齢者の親睦と生きがいづくりに尽力され、地域の老人福祉の向上に大きく貢献。

善行褒賞

●多田しげ氏(大町・47歳)

昭和四十九年七月以来十七年

余りの長きにわたり、ボランティアとして宮宿公民館文庫活動にあたられ、子供の読書啓蒙に献身的に尽力されたほか、おはなし会ぶなの実の人形劇、エプロンシアター等の製作寄付をなされているもの。

●佐竹房夫氏(新宿・53歳)

新宿公民館裏の溜池に転落等の危険防止用フェンスの必要性を強く認識され、平成二年四月に無償でフェンスの設置工事を行い、子供たちの安全と事故防止に寄与されているもの。

●鈴木たかゑ氏(宿・74歳)

今日までの六年間の長きにわたり、和合警備所内及び周辺道路の清掃奉仕を行い、地域の環境美化に尽力されているもの。

●安藤栄一郎氏(松原・53歳)

上郷地区の子供達の健全育成とスポーツ振興に関心を持たれ、昭和六十三年度から毎年度スポ

勤労者県知事表彰に輝く

成原一さん(西町)

県内の民間企業に働く勤労者を対象にした勤労者県知事表彰が十一月二十日、県庁で行われ、席上西町の成原一さん(53歳)が表彰を受けました。これは、勤労者として模範となる方に毎年贈られているもので、今年は県内で五名の方が選ばれたものです。

成原さんは、大東建設株式会社社工務部職長として、三十四年間土木工事現場のエキスパートとして活躍。また、社員の親睦と融和を図るため、親睦互助会の会長を二度にわたり勤めるなど、同僚の信望もたいへん厚い方です。「これからも会社のため、郷土のためより一層仕事に励みたい」と受賞の喜びを語ってくれました。



受賞を喜ぶ成原さん

最新の消防自動車ポンプを配備

1分団3部（和合地区）

町内に4台ある自動車ポンプの中で、最も老朽化していた、1の3（和合）の自動車ポンプが、このたび、最新の4WD車に更新されました。

12月7日に和合公民館前で行われた引き渡し式と安全走行の神事には地元団員はもちろん、町、町消防団最高幹部、区長さんをはじめ多くの区民も出席してポンプ車の安全を祈りました。

このポンプ車は2の4（常盤）に配備されているものと同型ですが、装備面で一層充実したものとなっています。



新しいポンプ車による操法を披露する団員

雪道のスピードはひかえめに

ラジからスパイクタイヤは禁止！

今年の冬から、町内全域や全国の指定地域でのスパイクタイヤの使用が禁止されます。これは、従来のスパイクタイヤから発生する粉じんの人体や環境に与える悪影響を防止するため実施されるものです。

雪道はスタッドレスタイヤを装着し、スピードをひかえめに、安全運転に心がけましょう。



スタッドレスタイヤのはきかえは早めに

賞 詞

●本町第一班婦人部（本町）

永年にわたり宮宿中央駐車場の清掃奉仕活動をなされ、環境美化に一丸となつて尽力されて

いるもの。
●志藤寛一氏（能中・41歳）
昭和六十三年度から四年間にわたり、ふたば保育園のピクニックにりんご園を解放され、園児のりんごもぎとり体験をはじめ、給食用や家へのお土産用に提供されると共に、園児のおやつりんごジュースを寄付されているもの。

技能者表彰

●菅井数衛氏（大隅・66歳）

永年にわたり朝の登校時に大谷七区の児童を世話し、一緒に登校されています。特に低学年の児童の面倒をよくみ、年間を通して整然と登校されているもの。

●中沢子ども会

●朝日シルバークラブズ
十五名の選手が一丸となつて練習に励み、ねんりんピック'91に大会ソフトボール交流会に山形県代表として出場、見事一勝を勝ち取るなど、高齢者の生きがいと健康づくりに貢献。

約五十年にわたり建築大工としてその職に精励され、その間多くの後継者を育成し建築業界の中心として活躍され、常にたゆまざる技術の向上に努められているもの。
●白田昭治氏（大隅・42歳）
二十余年にわたり建築大工としてその職に精励され、建築大工として初めて一級建築士の資格を取得し、建築業界の中心的役割を果たしながら常にたゆまざる技術の向上に努められているもの。

●白田芳美氏（大谷三・59歳）
四十余年にわたり左官職人としてその職に精励され、その間多くの後継者を育成し、当組合役員として活躍されながら常にたゆまざる技術の向上に努められているもの。
●遠藤初男氏（真中・56歳）
約三十年にわたり製材工としてその職に精励され、卓越した技能で職場の中心的役割を果たすと共に後輩の指導にも尽力し、常にたゆまざる技術の向上に努力されているもの。

●白田光郎氏（常盤・60歳）
四十余年にわたり菓子製造業としてその職に精励され、数々の資格を取得すると共に後継者の育成に尽力され、業界役員として活躍されながら常にたゆまざる技術の向上に努められているもの。
●今野よしの氏（本町・82歳）
五十余年にわたり和裁技能士としてその職に精励され、その間永年にわたり和裁の先生として尽力され、毎年数多くの生徒たちを育て上げるなど献身的に努力されているもの。
●鶴見キミ工氏（栗木沢・83歳）
五十余年にわたり和裁技能士としてその職に精励され、その間永年にわたり和裁の先生として尽力され、毎年数多くの生徒たちを育て上げるなど献身的に努力されているもの。

第12回 朝日産業まつり会場



わたしは空カンを食べる「空カン鳥」です

燃えよ!! いま行動のとき

産業の栄えるまちをめざして

第12回朝日町産業まつりが、十一月二十三日、二十四日の二日間、にわたり町民体育館を主会場に盛大に開催されました。

このまつりは、町、農協、商工会、各関係団体が実行委員会を組織し、毎年行われているものです。

二十三日は、産業大賞、りんご品評会、良質米共励会などの表彰式が行われ、それぞれの分野で活躍されたみなさんが表彰を受けました。

また、会場では町内の企業や商店で生産、販売されている製品や商品の展示販売のほか、もちつき大会、りんご皮むきフェスティバルなど、様々なイベントが繰り広げられました。



喜びの受賞者のみなさん

産業大賞奨励賞受賞

●朝日町あけび生産組合（組合長 堀真一郎さん）

あけびの商品化に成功し、みごと町の特産品としての銘柄を確立。さらに、新品種の開発や料理普及用ビデオを製作するなど組合員一丸となって、産業振興に貢献された。

●朝日町自然の友協会（代表 若月俊行さん）

ふるさとクーポン事業の先駆者として、町の特産品の販路拡大に努められている。さらに、全国各地の物産展で朝日町を積極的に紹介するなど産業振興に貢献された。

●ほおづき窯 白田とみ子さん(大谷2)

陶芸技術の向上に努められ、昭和59年度東北現代工芸美術展入選をはじめ数々の個展を開催。卓越した技術は高く評価されるものであり、産業振興及び芸術文化向上に貢献された。



あせらず、早く、長くむいてね!
(りんご皮むきフェスティバル)

●良質米高位安定生産共励会(出品18点)

賞	受賞者	品種	反収
最優秀	白田 要治(大谷1)	ササニシキ	582kg
優秀	布施 栄悦(助ノ巻)	〃	733
〃	鈴木 敏広(松 程)	〃	603
優良	鈴木 秀美(〃)	〃	596
〃	志藤 勝幸(能 中)	〃	613
〃	阿部 光好(太郎1)	ハナノ舞	578



会場には町の工業製品や特産品が所狭しと展示されました
(町民体育館)



体育館前ではもちをついて無料でふるまわれました



201点が出品されたりんご品評会
(農業団地センター)



日本一の無袋ふじりんご

●「無袋ふじ」りんご品評会(出品201点)

賞	受賞者	硬度	糖度
最優秀	佐竹 正二(ハツ沼)	13.5	13.5
優秀	村山 征一(大谷7)	13.8	14.1
金賞	阿部 一郎(夏草)	13.0	13.2
〃	鈴木 義昭(大暮山)	13.0	13.2
〃	菅井 春彦(沼向)	13.0	14.7

■連絡先
役場企画情報課
企画広報係へ
☎67-2111 (内222)



プロフィール

藤原光雄 さん

本町・昭和2年7月21日生

〈現在の主な役職〉

西村山地区青少年育成団体
等協議会会長
町青少年育成町民会議会長
町社会福祉協議会理事
大江地区交通安全協会宮宿
支部長

藤原光雄さんに

(財)日本顕彰会社会貢献者表彰

現在、町の青少年育成町民会議の会長をされている藤原光雄さんが、このたび(財)日本顕彰会社会貢献者表彰を受けました。

これは、藤原さんが昭和45年以来今日まで、22年間青少年の健全育成に尽力された功労が認められたものです。



プロフィール

白田光市 さん

大谷三・昭和5年4月24日生

〈現在の主な役職〉

仙台地方たばこ標本委員
県自作農協会理事
県たばこ耕作組合理事
町農業委員会会長

白田光市さんに

全国農業会議所会長表彰

町の農業委員会会長をされている白田光市さんが、このたび全国農業会議所会長表彰を受けました。白田さんは昭和46年から20年間農業委員として、さらに昭和58年からは会長として農政の振興発展に尽力されています。

このたび大谷小学校(望月正信校長・児童数165名)が、県教育委員会より三年連続で健康推進校の優秀賞を受けました。同校は心身ともに健康で、たくましい子供の育成に積極的に取り組んでいるものです。健康な体はじょうぶな歯をつくることから、三年前から昼休みの歯みがき運動やカラーストなどを行っています。また心の健康促進のため、あいさつ

健康推進優秀校

三年連続の受賞

運動も実行しているほか、父兄への性に対するアンケート調査を行うなど、独自の性教育計画を立案中です。

大谷小

ぼくのおばあちゃん

大谷七ノ村山豪信くん
(大谷小1年)
村山てるさん
(66歳)



ぼくのおばあちゃんは、るすばんをしなごら、やさいをつくっています。はなもたくさんうえて、きれいにさかせます。

ぼくが、がつこうからかえつてくると、おやつにタマゴプリンやおにぎりぎにぎつてくれます。だから、ぼくはおばあちゃんが大好きです。

いつまでも、たくさんのお花をさかせてげんきでいてください。

— ひでのぶ



健康な体づくりにはげむ児童たち



町民の

このひろばはみなさんのページです。話題やご意見、作品など、ご自由にお寄せ下さい。

ひとことトーク

大地の“香”を都会人へ

～10年を迎えたふるさと宅配事業～

若月 俊行さん
(西船渡・39歳)

私がふるさとクーポン事業をはじめ、早いもので十年になりました。当初は、量をたくさん送っていましたが、今は都会の核家族にあつたおいしい物を少量、そして、品数豊富に送ることを心がけています。

また、山菜やあけびなどの場合は、調理法の説明書を同封し、おいしく食べていただく努力もしています。

最近の傾向は、くだものに人氣が集中しています。特にりんごとさくらんぼ、それにラ・フランスなどです。今年は台風の被害で集荷にひと苦労です。

今回、産業大賞奨励賞をいただいたことをひとつのステップとして、今後は朝日町らしい農産物の加工品を開発したいと考えています。

ふるさと
人国記
20

菅井 勝治郎

—りんご栽培成功の父—

ふるさとの土と生きぬく一生は、かつての農民の輝かしい歴史であった。特に、単なる伝承ではなく新分野を開拓する営農は、困難を伴うものであった。りんご栽培という新分野に挑戦する人間の業績は、まさに光り輝くものであるといえよう。

明治二十年に釜山(和合平)に植栽されたと言われるりんご畑も、菅井喜兵衛(和合)や武田基内(中野)の努力にかかわらず、成功には至らなかった。

大正十四年になって菅井定治と勝治郎親子は、武田基内の畑地を借り受け、りんご園造成に着手した。

彼は明治二十六年十二月、菅井定治氏の長男として和合に生れた。次の年には日清戦争が始まるという社会情勢の中で、米の新品種「亀の尾」が選出された年でもあった。

父について農業に従事してきた彼は、昭和に入るとりんご栽培に傾注し、何回も消毒をしたり、刈った草を樹の根元に敷いたりして、予想外の収穫を得るようになった。

さまざまな困難を克服して広いりんご園経営を続けたので、「和合のりんごや」と言われるようになった。現在残っている一番の古木は、明治四十四年に植栽されたものである。

家業の他に彼は、区長、町議会議員、初代果樹組合長等を勤め、町の産業発展に貢献した。その後、養蚕に代ってりんご栽培全盛期を迎えるのである。

昭和三十九年十一月中旬没。オリンピック東京大会が終つて間もない晩秋の宵であった。

文・杉ひさし

郷土芸能の伝承にはずみ

八ッ沼・大谷角田流獅子踊りが

県無形民俗文化財に指定

町の郷土芸能として親しまれている、八ッ沼の獅子踊りと大谷の獅子踊りが県指定無形民俗文化財になりました。

この両地区に伝わる角田流獅子踊りは、宮城県の角田市から伝わったものといわれています。武士たちが角田流の流派を名乗って演じていましたが、江戸時代に入ってから農民の手によって守られてきました。しかし、現在は発祥の地角田市ですでに演じられていないものです。

八ッ沼地区では一五五〇年前後の天文年間に、八ッ沼城主原田斐守が角田から楽士を招き家臣に習わせたのがはじまりと伝えられています。四年に一度八月十五日の送り盆に演じられているものです。

また、大谷地区の獅子踊りは、一八〇〇年後半の文化年間に、地元天満神社の別当だった白田外記が、角田から獅子踊りを取り入れたものと伝えられています。

す。毎年八月十五日の送り盆と八月三十一日の風神祭で上演されています。

地元ではこのたびの指定を受け、今後さらに、伝統芸能にみがきをかけようとがんばっています。



四年に一度上演される八ッ沼獅子踊り

高校生が大活躍！

朝日町Aチーム大会新で2連覇

第38回西村山地区駅伝競走大会



優勝の喜びにわく朝日町チーム

第三十八回西村山地区駅伝競走大会が、十一月七日行われ、朝日町Aチーム（鈴木利和監督）がみごとな走りで二連覇を飾りました。

大会は、第一区から朝日町Aチームが飛びだし、九区間のうち七つの区間賞をとる力走を見せ、七九・二キロを四時間十七分二十九秒の大会新記録で優勝しました。

鈴木監督は「今大会は、若い高校生の選手が特にがんばってくれました。この調子で順調に育ってくれば、三連覇、四連覇も夢ではないでしょう」と力強く語ってくれました。

次の選手のみなさんが区間賞に輝きました。

- 一区 海野裕喜(送橋) 〓新記録
- 二区 鈴木幸喜(高田)
- 三区 鈴木伸治(平) 〓新記録
- 四区 伊藤 司(能中) 〓新記録
- 五区 菅井繁美(大隅) 〓新記録
- 七区 海野宏行(送橋)
- 九区 早坂健一(大谷五)

エコ博士 最近は何んでもかんでも食料品が発泡スチロールやプラスチックに入っているが、どうも気に入らん。

主婦K どうしてですか。清潔



だし、すぐに買えるから便利でしょう。

博士 確かにそうかもしれない。しかし地球にやさしい物じゃないんじやよ。つまりゴミとして捨てられる時、腐らないし分解しない。燃やせば高熱を出し、なかには有毒ガスを出すものもあるからな。

主婦K エー、知らなかった。じゃ庭先で燃やすのは？

博士 あまり良くないね。日本

では法律で規制されていないが、アメリカでは禁止されているよ。

主婦K では、ゴミとして出す時の注意はなんですか。

博士 寒河江のクリーンセンターでは熱処理して、小さく固めて埋め立てている。だから、ゴミとして出すなら、危険物として分別して出してほしいんじや。もちろん、そうした物を買わない工夫や、使わないようお店に頼んでみることも大切じやな。

ふるさと
めぐり

〈19〉

町商業の中心地

本 町



商店街の再開発が期待される本町通り

地域を花で飾ろうと、五年前から地区総ぐるみで、花いっぱい運動を展開しております。今年から小・中学生にも参加してもらい種子から育てています。子供達のこの体験は、きつと次の世代にもつなげてくれることでしょう。

数年前、清水地内で縄文晩期のものとみられる遺跡がみつかりました。当時、日本全土に十七万人ぐらゐと推定される、縄文人が住んでいたと考えただけ

でとても楽しくなります。豊龍公園は、昔から地区民の心のふる里でした。今、自分達の手できれいに整備をしようという声があり、若い人の間で盛り上がりつつあります。

この地区の大きな課題は、商業集積地として発展を続けることです。そのためには、おもいつきった商店街の再開発が必要といま模索中です。行政の協力をえながら、文化の香り高い、楽しいコミュニティショップイングロード実現へ向けて、徐々に行動への気運が高まりつつあります。

(本町区長 多田秀雄)

東京からふるさと応援

第3回「あさひまち会」総会



町政について話をする小林町長

東京など首都圏に在住する朝日町出身者の会「あさひまち会」の第3回総会が11月9日、都内新宿のホテルで開催されました。

参加したのは、昨年より多い180名の「あさひまち人」。町からは、小林町長と佐竹議長ら3名が出席、あたたかい歓迎を受けました。

志藤六郎会長(栗木沢出身・横浜市在住)より「台風19号による農作物の被害はかなりのものと聞いています。しかし、それに負けることなく、町民一丸となってがんばってほしい」と励ましのあいさつがありました。続いて、小林町長より、町政の近況報告が詳しくあり、その後特産の朝日町ワインで乾杯を行い、ふるさとの話題に花を咲かせました。

“生きがい”と“健康”で明るい社会

第12回

『婦人まつり』と『健康のつどい』



町連合婦人会と町主催による

第十二回婦人まつりと健康のつどいが十二月一日、町中央公民館に四百名を超えるお母さんたちが集まり盛大に行われました。日々の忙しい生活のなかで、仲間と共に学んだ婦人文化教室は、茶道、着付、民謡体操など九グループによる学習の成果を発表し合いました。また、「じょうぶな歯でいきいき八十歳」をテーマとした健康まつりでは、食生活改善推進員による減塩料理の試食会など、はつらつお母さんのパワー全開の日となりました。

当日は、開会に先立ち大町の安藤直良さんの五十回の献血を最高に、十回以上協力いただいた

た方に献血功労賞が。また、今年からはじめられた、三歳児を対象にした虫歯0賞の表彰式が行われました。

午後からは、「健やかに生きよう」と題し、宮城県古川市で特別養護老人ホームの施設長として活躍されている西沢優季子さんの記念講演会がありました。参加者は「左手に健康を、右手に生きがいを持って明るく生きよう」と話す西沢さんの話に熱心に聞き入っていました。



虫歯が一本もない3歳児たちと父母のみなさん

出会いと発見

ハワイ旅行から

山形国体まで

私は海外旅行をしたことがありませんでした。

「言葉は何かなるだろう。ハワイは常夏の国で、何事も輝いてまぶしいほどの楽園であるに違いない。」

しかし、百聞は一見にしかずといいますが、うわべの飾りとは違った現実の生活がありました。

まもなく始まる山形国体でも、色々な人との出会いがあるに違いありません。きっと共通の発見があることでしょう。

七時間でハワイです

ハワイ空港は、オアフ島のホノルル市郊外にあります。

ハワイには、十の禪宗のお寺があります。昨秋に「ハワイ観音巡拝ツアー」(三十名の一人として行ってきました。

二日目からお寺参りです。ワイシャツに黒ネクタイの上から、衣を着ける服装でした。日本の坊さんの姿のままで異様に見えるのだそうです。

アメリカ人の発表を聞く態度

午後には、オアフ島を離れ、飛行機で五十分の静かなハワイ島のヒロ空港に着きました。

今夜は大正寺というお寺の御詠歌、梅花講設立三十周年記念大会に参加します。

大会には、ハワイ島(四国の半分位の大きさ)にある色々な宗派のお寺の約三百名の方が参加しました。

大会は最高に盛り上がりしました。しかし、ちょっと様子が違います。日本なら一つの演奏が終わる頃になると、待ち構えていたかのように我先にと拍手を

しますが、ありません。拍手がないので、あれ、だめだったのかなと思つた頃に大きな拍手がわきおこるのです。最後の最後まで、しっかり聞いてから拍手をするのだそうです。上手でなければ拍手がありません。厳しいものです。日本からわざわざ来てくれたからなどという、おせじもないそうです。

ハワイの現実の姿

翌日は、半日もバスに揺られ、島の反対側のコーヒの産地コナに行きました。

今日のガイドさんは、日本語の上手な七十歳くらいのお婆さんでした。ハワイの本当の姿について話してくれました。ここはみな過疎の村で、住んでいるのはみなお年寄り夫婦だけだそうです。家も、大きいのはいないというので、小さいものでした。

若者は、つらく厳しい仕事がいやで、みなアメリカ本土やハワイの首都ホノルルへ行っているというのです。百二十万人のうち、百万人がホノルルに住み、そのほとんどが観光業にたずさわっているということです。ですから、サトウキビ畑は荒れ放

『朝日ママ』準優勝

デモスポ家庭婦人
バレーボール・リハーサル大会



みごと準優勝に輝いた『朝日ママ』チーム

十一月十七日大江町立大江中学校と左沢小学校を会場として、べにばな国体家庭婦人バレーボール・リハーサル大会(近藤杯大会)が開催されました。

町代表として鈴木美和子(助ノ巻)監督率いる『朝日ママ』チームが出場。一回戦の山形市一小おもだかを2対0、二回戦の大江水曜会も2対0で敗りました。決勝戦では、今年の石川国体に出場した県ナンバーワンのおもだかチームと対戦し敗れましたが、みごとブロック準優



ゴミひとつ落ちていない公園



同行者のみなさん（右端が筆者）

題で、世界一香りが良いと言われるコナコーヒーも、もう取れないそうです。魚はたくさんいるのに、漁師がいらないそうです。

本当の観光とは 何でしょうか

コナに別れをつげ、ホノルル経由でもう一つの島、カウアイ島に着いたのは夕方でした。

翌朝、この島のお寺を尋ねました。午後は島の観光です。海岸や溪谷、洞窟などを案内して頂きました。正直に言えば、日本の観光地のほうが格段に良いように感じました。

ただハワイに来て驚いたり、見習いたいものだったことがありました。まず、日本人の旅行者ならやりかねない飲酒は、公共の場では一切禁止です。観光地はもちろん、空港、ホテルの廊下など、どこに行っても酔っぱらいは見ませんでした。もちろん、私たちしか乗っていない観光バスの中でさえも禁酒です。たばこも禁止です。バスの中を立ち歩くことも注意されました。事故が起きたときの保証が大変なのだそうです。

また、観光地には売店がありません。あるのはトイレだけです。何か記念品を買ったり、食

べ物を注文するのに慣れている私にとつては、ちょっと物足りませんでした。

夕方には、ふたたび飛行機でホノルルにもどります。飛行場では、日本人の癖が出てまいりました。荷物をならべてだれか一人に頼めば、何人分もの順番を取ったつもりになります。これではいけません。日本人以外の人は、荷物を持ってきちんとならんでいるではありませんか。つい注意してしまいました。

日本に戻り 最初に感じたこと

いよいよ、日本に帰る日になりました。成田空港に着き、みんなに別れをつげ、電車で山形に向かいました。途中、ハワイでは一つも見かけなかった、たばこの吸いがらがあちこちで目につき恥ずかしくなりました。いつの間にか吸いながら一つ一つ拾い始めていました。

山形国体始まる

ところで、いよいよ山形国体が始まります。私にとつて、国体は色々な人との出会いだと思っています。国内の大会だとい

っても、地方によって習慣も言葉も違います。

南国だから陽気でにぎやかな人かと思うと、意外に静かな沖縄の人であつたり、北国の陽気な秋田の人に会つたりするかも知れません。

長野や岐阜はもちろんのこと、九州や四国の人、山形の山は意外に深くないと思うかも知れません。

北海道の人の言葉が、きれいと感じたり、四国の言葉が山形弁と少しも違わないと感じたりすることでしょう。

東北の人は酒が強いなどと言われるが、高知では「鯨飲」という言葉があるように、もともと豪快な飲みっぷりの人に会うかも知れません。

また納豆の嫌いな関西の人や、ウィスキーを牛乳割りする北海道の人に会うかも知れません。こうしてみると山形国体にも、

海外旅行以上の体験と発見があると思われまふ。直接は競技に参加しなくても、どなたにも何らかのかかわりが出てくるように思います。それが、国体への参加ではないでしょうか。

まもなく国体が始まります。みんなで国体に参加しましょう。

（教育広報副委員長 塚本旦道）

勝に輝きました。

鈴木監督は「今回の準優勝は、来年の国体本番に向け、確かな手ごたえを感じました」と自信を深めた様子。同チームは、毎週木曜の夜町民体育館で練習を行っています。町民のみなさんのあたたかい応援をお願いいたします。

水 本 小

110周年記念式

＝ 酬恩祭も行う ＝

十一月二十日、町立水本小学校の創立百十周年記念式典が同校体育館で行われました。

同校は明治十四年西接待のあみだ堂に開校し、幾度の変遷を経て現在にいたっています。当日は同時に、五十公野与三郎初代校長の酬恩祭も行われ、会場にはその当時生徒だった地区民も出席し遺徳を偲びました。



五十公野校長の遺影に感謝する地区民たち



●ハッ沼／阿部 忠之さん
千恵美さん

さややか
新婚さん

「恋人時代は、“にいちゃん”、“千恵美”と呼ばれていたもので、夫婦というよりは兄妹という感じかなー」と話す二人。

高校時代からの長い交際期間にピリオドを打って、十月にめでたく結婚。新婚旅行は、団体旅行に入らず二人きりのカナダ旅行。「むこうでは、レンタカーを借りて、カナダの大自然を満喫して来ました」と、1,000枚に及ぶスライド写真を見せしてくれました。「いろんなハプニングもあったけれど、一生で最高の思い出です」とアツアツぶりを披露してくれました。

人口と世帯数

●平成3年11月30日現在

人口	10,516 (△12)
男	5,210 (△2)
女	5,306 (△10)
世帯数	2,566 (△3)
	() 内前月比

小 菅井 博 心 加藤 有里
原 寒河江市



おしあわせに

(婚姻届)

西原	常盤	杉山	大町	沼向	本町	宇津野	区名
阿部	長岡	安藤	阿部	峯田	鈴木	細谷	出生児氏名
杏亮	裕太	直人	貴寿	佳明	眸美	拓磨	父名
広幸	弘毅	寿浩	武雄	健生	秀明		



すこやかに

(出生届)

●(財)朝日町育英会に寄付
大町の多田積さんより現金十
万円を寄付していただきました。
ありがとうございます。



大谷	四ノ	大町	松程	区名
三沢	石塚	今井	鈴木	死亡者氏名
菅井	くに	歌	とり	世帯主
勝己	庄一	彦		



やすらかに

(死亡届)

年末年始交通安全県民運動



年末年始は、
とかく飲酒の
機会が多いう
え、積雪や凍

結などにより道路状況も悪化し、重大交通事故の多発が予想されます。ドライバーも歩行者も、交通ルールを守り、楽しい年末年始を過ごしましょう。

期間 12月21日(土)～1月10日(金)
まで21日間

重点目標

- ①高齢者の交通事故防止
- ②積雪・凍結時の事故防止
- ③飲酒運転・暴走運転の追放
- ④歩行者の交通事故防止

●町社会福祉協議会へ寄付
元町の鈴木武久さんより、社会福祉のために二十万円いただきました。また、町連合婦人会からも一万円いただきました。ありがとうございます。

べにばな団体アモスボ行事
歩くスキーの
選手募集!

期日 1月26日
会場 最上町

★詳しくは、
生涯学習課社会体育係まで。



春夏秋冬

編集後記

会でも、大事なことは意識の変革と発言していた。このことは、私たち地方に住む者にとって大切なことのように思う。少し金が入れば、いい服も着たいし、スキーも買いたいと思う。しまう。ヨーロッパの人々の生活は、何かもつと歯止めをきいたもののように思われる。

「目出度さもちう位なりおらが春」一茶。みなさまどうぞよいお正月を。

(一)

この秋は何回かりんご温泉に通った。朝日、月山、葉山と、みちのくの霊峰や、ゆつたりと流れる最上川を眺めながらのお風呂は格別である。この景色付きで入浴料三百円は、妥当な額だと一人合点している。

東京に住んで、この満足を味わうにはいくらかかるのだろうか。視点を変えれば、本当の豊かさを実感できるかもしれない。今回のフランス研修生の座談